

六月定例会

物価高騰対策費47.4億円を可決
二月定例会分と合わせ74.2億円

岩手県議会六月定例会（6月19日招集、7月3日最終本会議）において、中東情勢や長引く物価高の影響を受けている生活者・事業者を支えるため、生活者支援として、LPガス使用者（中小企業者を含む）や学校給食費の高騰に伴う保護者の負担軽減、事業者支援として畜産経営体に対する配合飼料の負担軽減、運輸・交通事業者への事業継続支援、介護・福祉・医療施設の光熱費・食材料費や農業・水産業資材の価格高騰分への支援など総額47.4億円余りの物価高騰対策費を可決させました。

すでに本年二月定例会では物価高騰対策として26.8億円を先行措置しており、令和8年度の物価高騰対策費は総額74.2億円（生活者支援20.7億円、事業者支援53.6億円）になりました。

六月定例会では、物価高騰対策費を含め大槌町林野火災復旧・復興事業費24億円、ツキノワグマ被害対策関係費など総額99億円余の補正予算を可決させました。六月定例会で可決した具体的物価高騰対策事業と予算額は次ページのとおりです。また、二月定例会で可決した事業と予算額も「当初予算措置分」として表示しております。



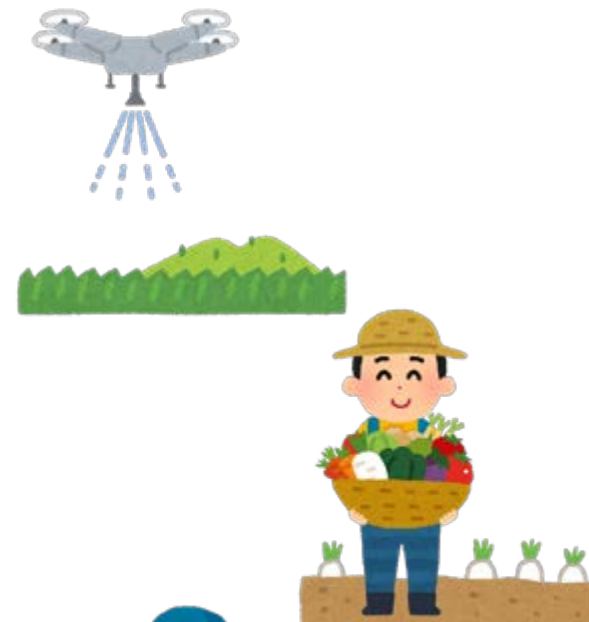
令和8年度の主な物価高対策

予算総額 74.2 億円 ※生活者支援 20.7 億円／事業者支援 53.6 億円

	支援先	事業概要	
生活者支援	生活者全般への支援	● L P ガス価格高騰対策費 9.0 億円 一般消費者に 2,100 円（前年比＋ 200 円）、工業用消費者に 37 円 / m³（前年比＋ 2 円）の支援金を支給〔R8.7～9〕 ● 【新規】 いわて県民応援プレミアムポイント還元事業費 11.6 億円 ※当初予算措置分 キャッシュレス決済を活用したポイント付与を実施 （対象キャッシュレス決済サービス 1 つあたり、1 回の決済につき 2,000 円相当 （期間中 5,000 円相当上限）実施時期：夏季）	  （イメージ）
	子育て世帯支援	● 学校給食物価高騰対策等支援費 0.1 億円 県立学校（特別支援学校等）の給食費の値上げ分を支援〔上半期分 ※特別支援学校小学部は年間分〕	
事業者支援	中小企業分野	● 特別高圧電力利用中小企業者電気料金支援金 0.3 億円 〔1kWh あたり支援単価〕 R8.7、R8.9：1.8 円（前年比＋ 0.8 円） R8.8：2.3 円（前年比＋ 1.1 円） ● 【新規】 中小企業経営安定資金保証料補給補助 2.3 億円 岩手県信用保証協会が行う信用保証事業に要する経費の一部を補助 （中小企業者の保証料負担の 1/2 を支援）	
	観光分野	● 【新規】 いわて旅割キャンペーン事業費 12.4 億円 ※当初予算措置分 県内宿泊施設の宿泊料割引キャンペーン（割引上限額：3,000 ～ 7,000 円 / 泊、 実施時期：R8.7～R9.2（除外日あり） ※詳細はホームページ参照（https://iwate-tabiwari.jp/）	

農業分野

- 農業水利施設省エネルギー化推進対策費補助 0.3 億円
土地改良区の電気料金の高騰分の 1/2 または 7/10 を補助〔R8.4～9〕
- 肥料コスト低減技術活用環境整備事業費補助 0.1 億円
化学肥料低減のための機械導入費の 1/2 を補助（上限 300 万円）
- スマート農業機械等導入緊急対策費補助 1.0 億円
低コスト・省力化のための機械導入費の 1/2 を補助（上限 1,250 万円）
- 【新規】農業資材価格高騰緊急対策費補助 1.6 億円
農業資材価格の高騰分の 1/2 を補助（上限 9,000 円 / 10a）〔R8.4～9〕



畜産・酪農分野

- 配合飼料価格安定緊急対策費補助 13.8 億円
補填金控除後負担の 1/3 を補助（上限 2 千円 / t）〔上半期分〕



水産分野

- スマート水産業機器等導入支援事業費補助 0.4 億円
効率化・省力化のための機械導入費の 1/2 を補助（上限 1,800 万円）
- 【新規】水産業資材価格高騰緊急対策費補助 1.1 億円
水産業資材価格の高騰分の 1/2 を補助（上限 4～80 万円）〔R8.4～9〕



事業者支援

医療・介護・福祉分野

●社会福祉施設等物価高騰緊急対策支援費

7.4 億円

介護、障がい福祉、救護、児童福祉各施設の光熱費・食材料費高騰分として、下記を支給〔上半期分〕

- ・入所施設は定員 1 人あたり 1 万 3,700 円
- ・通所・訪問等事業者は 1 事業所あたり 3.9 万～13.6 万円



●医療施設等物価高騰緊急対策支援費

4.4 億円

光熱費高騰分として、下記を支給〔上半期分〕

- ・病院、有床診療所に 23 万円＋1 床あたり 21,300 円
- ・無床診療所、助産所に 1 施設あたり 11.5 万円
- ・施術所（按摩、針など）に 1 施設あたり 3.8 万円
- ・薬局に 1 店舗あたり 3.8 万円



運輸・運送分野

●バス事業者運行支援緊急対策交付金

0.2 億円

1 台あたり 4.1 万円（前年比＋1.1 万円）を支給〔上半期分〕

●貸切バス事業者運行支援緊急対策交付金

0.3 億円

1 台あたり 4.1 万円（前年比＋1.1 万円）を支給〔上半期分〕

●タクシー事業者運行支援緊急対策交付金

0.3 億円

1 台あたり 1.6 万円（前年比＋0.1 万円）を支給〔上半期分〕

●運輸事業者運行支援緊急対策費

3.6 億円

1 台あたり 2.5 万円（前年比＋0.9 万円）を支給〔上半期分〕



早池峰神楽国指定50年記念事業

10月31日～11月1日、

全国神楽まつり ハヤチネ2026開催

「全国神楽まつりハヤチネ2026」は、令和8年10月31日（土）～11月1日（日）の二日間、にわたり、大迫体育館・花巻市大迫交流活性化センターを主会場に開催されることになっております。

早池峰神楽は、昭和51年（1976）に国の重要無形民俗文化財第一号の指定を受けました。また、平成21年（2009）には国連教育科学文化機関（ユネスコ）無形文化遺産に登録され、人類共通の文化遺産として世界に認められました。令和8年（2026）は、国指定から50年の節目の年に当たります。

このようなことから早池峰神楽の国指定50年を記念して、各地域において継承されている神楽団体（国、県、市の無形民俗文化財に指定されている14団体）と共演し、地域の優れた文化遺産である神楽の魅力発信と伝統芸能の保存継承を図るとともに、地域活性化を目的に行われるもので、全国大会は今回で四回目（平成8年、平成18年、平成28年に開催）となります。

早池峰神楽国指定50年記念事業

ハヤチネに神集う

全国神楽まつり



山の神舞
(大儀神楽)

山の神舞
(岳神楽)

ハヤチネ2026

日時 10/31（土）～11/1（日） 10:00～16:00
会場 大迫体育館・花巻市大迫交流活性化センター
主催 早池峰神楽国指定50年記念事業実行委員会

〒028-3203 岩手県花巻市大迫町大迫2-51-4 花巻市大迫総合支所地域振興課 TEL 0198-41-3124（直通）

（屋外掲示用ポスター）

宮沢賢治生誕130年記念事業、 ロゴマークを作成 11月1日～3日 国際研究大会開催

宮沢賢治は明治29年（1896）に生まれ、今年で生誕130年を迎えました。このようなことから花巻市では令和8年～9年初頭にかけて◎賢治を学ぶ場づくり◎賢治イベントの開催◎賢治の香りあふれるまちの整備◎賢治情報の発信などに集中的に取り組んでおります。

中でも、令和8年11月1日～3日にかけて花巻市定住交流センターなはんプラザにおいて、国内外から研究者や愛好者を招へいし、記念講演、シンポジウム、研究発表、分科会、ミニコンサートなどを開催し宮沢賢治の人物像や作品世界について理解を広げる取り組みを行うことになっております。

また、宮沢賢治の顕彰活動等に寄与することを目的にロゴマークも作成し普及に努めております。

ロゴマークの使用は、営利非営利を問わず、申請があれば原則どなたでも使用可能になっております。詳しくは花巻市役所・賢治まちづくり課にお問い合わせください。



（作成されたロゴマーク）

大槌町林野火災、 消防庁長官などに支援要請

6月11日、立憲民主党岩手県総支部連合会（代表・佐々木順一）と国民民主党岩手県総支部連合会（代表・軽石義則）、岩手県議会希望いわて（代表・軽石義則）の三団体は共同で各省庁を回り、大規模林野火災が発生した大槌町への支援要請を行いました。総務省消防庁では、大沢博長官（写真中央・岩手県野田村出身）に要望書を手渡し、今後の山林火災への取り組みなどについて意見を交わしました。

要請活動には木戸口英治、横沢たかのり両参議院議員、佐々木真琴衆議院議員も同行。総務省以外に農林水産省や内閣府も訪問しました。

